

大 地 申 第 4 号
2016 年 9 月 30 日

東日本旅客鉄道株式会社大宮支社
支 社 長 阪 本 未 来 子 殿

東日本旅客鉄道労働組合
大 宮 地 方 本 部
執 行 委 員 長 森 田 勝 美

「平成28年3月ダイヤ改正等について」の検証に関する申し入れ

大宮地本は、「平成28年3月ダイヤ改正等について」の妥結以降も関係組合員と議論を積み上げ検証してきました。

平成27年・28年ダイヤ改正以降、上野東京ライン開業による直通サービスの展開や武蔵野線・埼京線の増発が行われ利便性向上が図られ一定程度の成果がありました。一方では、異常時対応における車両の運用や乗務員操配の課題が解消されていないとの問題意識を一致させ検証してきました。

職場では、設備増設等の抜本的な解決がされない中において、車両運用や検査車両の確保に苦勞している現実や、乗務員においては健康管理の視点も含め行路作成時に工夫を施し、箇所によっては食事スペースが十分に確保されていないため周囲に気を遣いながらの食事を余儀なくされていると声が上げられています。

また、引き続き抱えている要員不足の問題についても、休日出勤や超勤対応等の努力により安全・安定輸送の確保に励んでいることを労使が認識している現実であります。

検証から現れた課題に向き合い、職場の声を基に健康で働きがいの持てる職場を構築し、安全確保と輸送品質を向上させる施策の実現を目指し、下記の通り申し入れを行いますので誠意ある回答を要請します。

記

【乗務員関係】

(共通)

1. 安全で働きがいのあるゆとりある行路作成を行うため、十分な議論時間を確保すること。
2. E 電区所における休日欠行路により、一部職場で平日の年休取得が困難になっている現状から次期ダイヤ改正で休日欠行路の導入はやめること。
3. 新宿駅新南口詰所廃止に伴い3・4番線詰所使用者が多く混雑していることから詰所の拡大、食事設備の改善等の改修工事を行うこと。

4. 食事時間の設定は、各区所の特情を踏まえ徒歩時間等の労働時間を除いて適切な時間を確保すること。
5. 各区所における時短行路を利用する社員が増加傾向にあることから、適切な要員を確保し、時短行路を増設すること。

【宇都宮線関係】

1. 異常事対応力向上のため乗務員交代駅を上野駅、東京駅に分散すること。
2. 東京乗務員詰所について拡大するとともに食事専用スペースを確保すること。
3. M電線区の特情を踏まえ、安全の確保の観点から適正な睡眠時間を確保すること。
4. 東武相直特急での無札、誤乗対策について明らかにすること。
5. 日勤行路の拘束時間が長くなっていることから次期ダイヤ改正において見直すこと。

【埼京線関係】

1. 今ダイヤ改正における遅延防止を目的としたダイヤ設定の検証結果を明らかにすること。
2. 利便性向上、働きがいの観点から以下の改善を行うこと。
 - (1) 785K～884K大宮駅着発番線を上りホームにすること。
 - (2) 大宮駅整列乗車列車の見直しを行うこと。
 - (3) ライナーによる渋谷駅機外停車を解消すること。
 - (4) 新宿駅の折り返し時間僅少を改善すること。
 - (5) 女性乗務員の川越車両センター泊行路を5行路に戻すこと。
 - (6) 新宿駅、渋谷駅における視認性向上等、ドア閉扉時の安全対策を実施すること。

【京浜東北線・武蔵野線関係】

1. 公休日後の勤務開始時間は、翌日の8時30分以降を標準とする規定を遵守して行路の設定を行うこと。
2. さいたま車掌区の単独早出勤を解消するため、泊行路を次期ダイヤ改正で増設すること。
3. 居流しにおける在宅休養時間は適正な時間を確保すること。
4. 女性乗務員の働きがいの観点から次期ダイヤ改正において宿泊地の拡大を行うこと。
5. 武蔵野線における東京駅朝8時台の乗り継ぎ時間を拡大すること。
6. 平日・休日の快速停車駅を統一すること。

【車両センター関係】

(共通)

1. 輸送混乱により運用整理が行われ、輸送の確保と検査車両の確保に苦慮しているが、作業検査実施のための車交発生が増加傾向していることから、次期ダイヤ改正で改善を行うこと。

【小山車両センター分会】

1. 予備車が確保できずスタンバイ予備を使用せざるを得ない現状から、スタンバイ予備の位置づけを改めて明確にすること。
2. 上野東京ライン開業後発生している転削周期が延びている現状や汚物抜き取りが出来ないためトイレ故障が発生するなど設備改善が必要な状況に対する認識と今後の計画を明らかにすること。

【川越車両センター分会】

1. 205系(川28編成)の廃車以降E233系が順次指定保全となることから、入場中の予備車を確保すること。

【大宮総合車両センター支部東大宮センター分会】

1. 651系、251系の故障が多く発生し、運休も発生していることから運用確保のための対策を講じること。

以 上